

こぼれ話

うだるような暑さが続いている。このような時はクーラーの効いたところで過ごすのが一番か。猛暑の時の葬儀はこれまた大変である。寺の本堂であつても熱い空気が充満していれば別である。ある方のおばあちゃんの葬儀が行われた。この暑い日の午後に。住職の後ろに遺族が座った。読経が流れた。70歳近い喪主の妻は肩を震わせた。少し

してさらに肩を震わせた。近くにいた弔問者は「(…気の毒に、姑さんに尽くしてきたからな)」と同情した。するとどういつ伏せになり激しく肩を震わせた。両手に握ったハンカチで顔を覆った。娘は「(大げさだ)」と思つた。葬儀終了後に娘は母に尋ねた。「何であんなに泣いたの」と。母は小さな声で言つた。「実は住職の頭に小バエが止まったのよ。それがスルツとすべる、また登ろうとするが、またすべる、だったのよ」と!

わが家の一品



【焼きナスの味噌和え】

「材料」ナス、ピーマン、味噌、砂糖、オイル。
「つくり方」ナスが連日のように採れています。このナスとピーマンを油で焼き、私流の味噌と砂糖で甘いソースをつくりそれをかけて頂きます。手軽で、時間もかからず、夏バテ防止に最適な一品だと思います。(大通り/Y・S)

ます。

雨水ポンプ場

藤原・新川町の工事は丸1年遅れ／千徳は予定通りに

関係住民への丁寧な説明が重要

7月30日開催の産業建設常任委員会に雨水ポンプ場工事の延伸理由の説明が行われました。

藤原と新川町のそれは約一年(11・5ヶ月)延伸となり完成は平成32年12月、千徳は予定通り今年の11月完成予定です。工期延長の理由は、コンクリート供給不足など市上下水道部の工期延

伸の理由は、藤原の場合①施工場所が狭隘なために重機を中心部に置き工事するために仮橋をつくる等したため。②躯体工事に当たり実施工程を精査した結果、コンクリート供給が他の復興工事との兼ね合いもあり予定通り進まないこと。③施工場所が狭いため建築工事と機械設備、電気設備の重複作業ができないこと、などが主な理由です。委託金額は36億円/国の交付上限額は41億円



読者の文芸欄

短歌 金沢邦臣(田鎖)

● 洪水の始末ひとまず終わらばし見れば秋の青空
● 立ち止まり又立ち止まり今日の万歩夏の来たるを蝉の声に聴く
自注/やっつとやっつと夏が来たようです。くれば「きた」で又それれもひとさわぎ。

し尿汲み取り料金引き上げの陳情書が提出される

10月定例議会で付託し審査に



7月10日付け「し尿汲み取り料金の適正化について」と題する陳情書が広域行政組合議会議長・藤原光昭宛てに提出されました。提出したのは、陸中衛生処理事業協会会長・神崎誠司で宮古事業所6社、山田事業所4社、岩泉2社、田野畑1社の代表取締役の連名です。料金適正化=料金引き上げの理由は何か

● 添付資料として県内市町村汲み取り単価一覧表(円/18%)が提出されています。1件(1回)当り=760円の手数料で見れば宮古は8番目の高さ

● 車両価格、他車両修繕費、資材の高騰。● 燃料費の高騰。● 法定福利費の引き上げ、としています。

● 添付資料として県内市町村汲み取り単価一覧表(円/18%)が提出されています。

● 1件(1回)当り=760円の手数料で見れば宮古は8番目の高さ

● 県内14市町村+6広域行政組合(計20)の各手数料を1件760円(1回当たりの汲取量の平均)で見ると、宮古広域は4992円で8番目です。最高は奥州市が6160円、最低が矢巾町と花巻市で4257円です。

● 10月定例議会で陳情書が付託され来年3月に結論を出す予定です。



● 陳情書の文面上に記述されている理由は、●平成20年度に引き上げて以降10年が経過した。●労働条件改善に

釣り

8月に入った。溪流釣りも残り2ヶ月となりスーパヤマメを狙う季節を迎えた。カゲロウの幼虫もバンバン大きくなり、日々羽化し、水面を朝夕飛び回っている。これを活用してヤマメを狙おう。せっかく遠くから帰省して墓参りする親戚がいるのだから、少しサービスする必要がある。

● 今年は大坂から還暦を過ぎた弟が来る、という方が居る。「大川さ連れで行ぐべすか。弟と甥つこど釣りに行くとなれば母ちゃんも文句はいわねえでば」と。「お盆のあれこれをきちんと手伝って妻孝行をすんのさ。姑息などを考ねえで」

● なんてこんな人生訓みでえなごどをいちいち釣り吉に言わないとだめなのか。ほに!